

みなさん

5月6日(金)午後6時30分より光が丘図書館に是非お集まりください。

よりよい練馬区の図書館をつくる会の運動が、第一幕の大詰めにさしかかりました。

会のこれまでを振り返ってみます。

「明日の図書館を考える集い」2004年8月9日 光が丘図書館に約80名が参加、この日が運動のはじまりでした。

そして、9月17日 シンポジウム「図書館の委託を考える」118名参加。よりよい練馬区の図書館をつくる会・申し合わせを発表、入会を訴えました。33名入会。

これより先、「練馬区立図書館の委託化に反対し図書館の充実と発展を求める陳情書」を作り、9月11日(土)12日(日)光が丘図書館前で署名活動、団体グループへ署名協力を要請しました。

9月13日 議会宛948筆、教育委員会宛878筆の署名と共に陳情書提出。9月27日教育委員会で第一回審議。10月8日区議会文教児童青少年委員会で第一回審議。

10月12日第一回よりよい練馬区の図書館をつくる会・会合。陳情書の補足説明書を作成することを決めました。

11月2日会員の協力で創りあげた補足説明書を教育委員会に提出、議会各党を訪ね文教児童青少年委員に手渡し。

12月9日交流集会「図書館のカウンターってどんなところ？」参加者他区を含め47名

12月14日陳情署名到達、区議会宛10,162筆 教育委員会宛9,557筆。この署名は、10館の図書館前署名・区職労による署名を合わせたもの。図書館前署名では、会員の参加は、延80名にのぼりました。

会は、情報が会員に共有されることと、会員が自由に意見を出すこと(メールやFAXで)に基づいて、毎回話し合ってきました。4月21日に至るまで10回を重ねてきました。

この間2月18日からは、委託(案)についての検討を、4月1日からは「私は、こういう図書館を望む」について沢山の意見が寄せられました。

そして4月21日「私は、こういう図書館を望む」の整理版をもとに、検討が始まりました。

「先ず、委託反対ありき」でなく、「私たちは、こういう図書館を望む」を明らかにし、それを実現するにはどういう体制が良いのかを構築するという課題です。

この課題は、状況の如何に左右されずに進められるべきものです。

さて、教育委員会は陳情を不採択としましたが、陳情補足説明書No.2となる筈の「こういう図書館を望む」は、今後 よりよい練馬区の図書館をつくる会の理念と政策提案として、更に意味あるものになると考えます。

5月6日には、陳情不採択をうけてのしめくりをつけねばなりません。更に、会がしっかりするために、会則の決定が必要です。

これについて、みなさんに提案いたします。

5月13日(金)あるいは、5月18日(水)のいずれの日に、総会を開き会則と活動方針を決定する。

多くの方の参加を期すため、ご都合のよい日を、予めお聞きし、5月6日に日程を最終決定します。

ご都合のよい日(5/13か5/18)を、至急、伊藤さん宛てにメールかファックスでお知らせください。おねがしいたします。

2005年5月2日

よりよい練馬区の図書館をつくる会 事務局長 関 日奈子